

高松市立香南中学校 体力向上プラン

【学校教育目標】

自分を大切に、なかまを大切に、そして、地域を大切にする生徒の育成

【本校の課題】

- 新体力テストにおいて、男女ほとんどの項目が県・全国平均を下回っている。
- 全校生徒の運動部動加入率が約60%となっており、女子生徒に至っては約43%と運動部活動への加入率が低い。
- 登下校時において、保護者の車による送迎が多い。
- 一小学校一中学校で生徒数が少ないことから、競争心が低い。

【現状】

昨年度の授業アンケートでは、約9割の生徒が学び合う楽しさを感じることができると答えている。しかし、新体力テストの結果を見ても、ほとんどの項目で県・全国平均を下回っている。

原因としては、①運動する機会(時間)が少ない ②登下校での保護者の送迎 ③競争心が低い ④生活習慣の乱れなどが考えられる。自ら運動に親しむ生徒の育成を目指すとともに、家庭と学校とが連携して運動習慣を身に付けさせるための手立てを確立する必要がある。

授業や学校行事での取組

- ・毎授業で補強運動を積極的に取り入れる。
- ・体育の授業において、競争意識が持ちやすい内容を工夫する。
- ・保健の授業で自身の生活習慣を見直したり、不足している体力の項目を分析させたりして、その改善策を考えさせる。
- ・生徒が楽しみながらしっかりと身体を動かすことのできる場を意図的に設定することで、体力の向上をねらう。

運動部活動や家庭との連携

- ・新体力テスト等で自分自身の体力について不足している要素を考えさせ、長期休業中の課題として自主的に取り組ませる。
- ・本校の自力登校の必要性を呼びかけ、登下校において歩く習慣を身に付けさせ、筋力・全身持久力の向上につなげたい。

【目標】

- 体力・運動能力の向上に係る取組を保健体育の授業や運動部活動だけでなく、学校全体として取り組む。
- 自力登校率を、H31年度までに90%以上にする。
- 県・全国平均を上回る項目を、H31年度までに3つ以上にする。